

マイカー乗り合い公共交通サービス「ノッカルあさひまち」本格運用開始  
国土交通省「事業者協力型自家用有償旅客運送」初事例  
—富山県朝日町と博報堂が推進する、住民同士が支え合う共助型 MaaS—

富山県朝日町（町長：笹原 靖直、以下 朝日町）、株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：水島正幸、以下 博報堂）は、スズキ株式会社（以下 スズキ）とともに実証実験として取り組んでいた、朝日町公共交通サービス「ノッカルあさひまち」は、10月1日から本格運行を開始しましたのでお知らせいたします。

なお「ノッカルあさひまち」は、国土交通省の地域公共交通関連制度「事業者協力型自家用有償旅客運送」\*を初めて利用した事例です。



朝日町が運行主体として提供する公共交通サービス「ノッカルあさひまち」は、地域住民がドライバーとして参加し、町内地域住民が利用する「住民同士が支え合うMaaS（Mobility as a Service）」です。博報堂がサービス設計やシステム設計などを、スズキが軽自動車を提供し、国土交通省の「自家用有償旅客運送」制度に即して、朝日町の住民の移動課題の解決を目指し、三者共同で2020年8月から実証実験を行ってまいりました。

実証実験は、当初、町の職員の運転で地域住民を無料で送迎するというかたちでスタートしましたが、自家用車を保有する地域住民ドライバーの導入やサービスの有料化を行うなど改良を重ねたことで、利用者数も順調に増加、延べ799名（2021年9月30日現在）に利用いただきました。

当実証実験を通じ、一定の需要が見込めることと、公共交通としてのサービス水準が確保できると判断し、このたび、朝日町の正式な公共交通サービスとして本格運用を開始することとなりました。

また、本格運用開始にあたり博報堂DYグループが開発したMaaSシステムを新たに導入し、利用者の利便性向上と運用効率化の両立を図ります。新システムへの切り替えは2021年内を予定しております。

朝日町と博報堂はスズキとともに、今後もノッカルあさひまちの改良を続け、地域の皆様の生活利便性の向上を目指してまいります。

\*事業者協力型自家用有償旅客運送：道路運送法の改正により2020年11月に創設された、運行管理や車両の整備管理についてバス・タクシー事業者が協力する制度です。バス・タクシー事業者が運行管理を行うことで、市町村等は運行管理等に関する業務負担の軽減や運行ノウハウの活用を図ることが可能となり、バス・タクシー事業者は委託費の確保等による収入面での向上が期待できます。

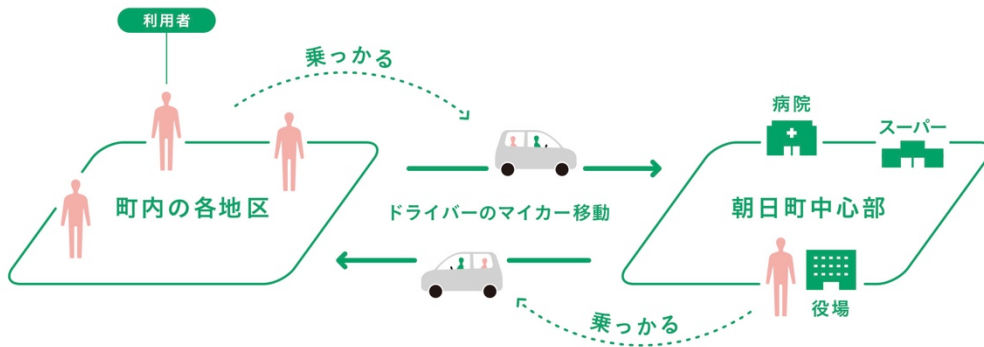
【本件に関するお問い合わせ】

朝日町 住民・子ども課 寺崎 TEL：0765-83-1100 e-mail:takeshi-terasaki@int.town.asahi.toyama.jp  
株式会社博報堂 広報室 二荒・江渡 TEL:03-6441-6161 e-mail:koho.mail@hakuodo.co.jp

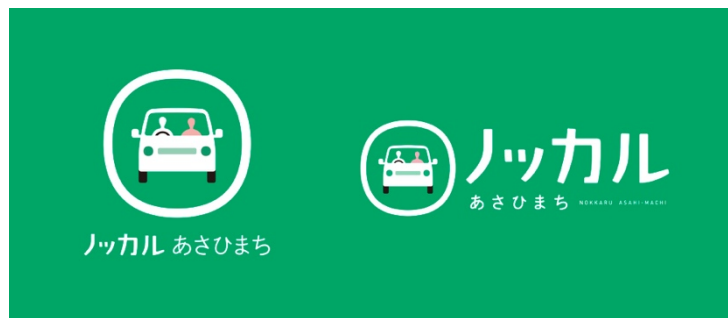
### <ノッカルあさひまちサービス概要>

朝日町の公共交通サービス「ノッカルあさひまち」は、ご近所さんの自家用車でのお出かけに、ついでに「乗っかる」ことができる、助け合いの気持ちをカタチにしたサービスです。各地区と中心街を行き来する住民ドライバーの車に、移動したい乗客が「乗っかる」仕組みとなっており、ドライバーは助け合いの精神のもと、自分の予定に合わせて、近所の利用者を自分の車に乗せて、目的地まで送迎します。利用者は、ドライバーの予定を見て、事前に予約し、ドライバーの車で目的地まで移動します。

### 運行イメージ



### ロゴ



### 利用料金：

- 一人での利用の場合は回数券3枚（600円）
- 二人での利用（乗り合い含む）の場合は回数券2枚（400円）

### 沿革：

2020年8月3日：実証実験スタート（町の職員が運転し地域住民を送迎・利用料無償）

2020年10月1日：自家用車を保有する地域住民からドライバーを募り、同じ町内の住民を送迎する形へサービスを移行（町の職員が運転し地域住民を送迎する方式も併用）

2021年1月4日：利用料有償サービス化。一人での利用の場合は回数券3枚（600円）  
二人での利用（乗り合い含む）の場合は回数券2枚（400円）

2021年10月1日：実証実験から、朝日町による本格運行開始

### <各者の役割>

- 朝日町：運行主体、ドライバー及び利用者の募集及び管理
- 博報堂：サービス設計、コミュニケーションデザイン設計
- 博報堂D Yグループ：システム開発・設計
- スズキ：サービス設計、一部車両の貸与および維持管理
- 黒東自動車商会：運行管理（予約受付・配車）

## <新システムについて>

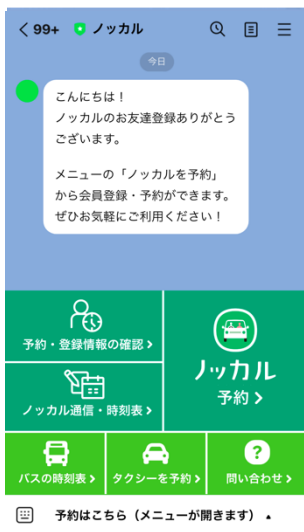
博報堂D Yグループが開発したMaaSシステムで、利用者向けの予約システム・ドライバー向けの運行管理システム・運行管理者向けの予約管理システムを2021年内に提供予定です。

利用者向けシステムはウェブ予約に慣れてない方や高齢者に使いやすいUI/UXを目指し、コミュニケーションアプリ「LINE」を使って構築しています。また、LINEを活用したシステムにすることで、行政情報の発信や商業連携施策といった用途拡張も可能にしております。予約機能だけでなく移動関連情報の集約も行うため、ノッカルあさひまち以外の交通手段に関する情報も掲載しております。

ドライバー・運行管理者向けのシステムは実証実験期間中に得られたフィードバックや知見を反映し、地域の環境に沿ったシステムを目指しております。

利用者向けLINEサービスイメージ

ドライバー向けアプリイメージ



※画面は開発中のものです。実際の仕様とは異なる場合があります。